

❗ 身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本製品を電波の出ない状態に切り替えてください(機内モードまたは電源オフなど)。付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

❗ 医療機関内における本製品の使用については、各医療機関の指示に従ってください。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

■EB1056 本体

使用箇所	使用材質	表面処理
外装ケース(ディスプレイケース、キーケース)	PC+GF樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
外装ケース(ヒンジカバー)、背面カバー、マナー/シャッターキー	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
外装ケース(ディスプレイリアプレート)、ウィンドウパネル部(サブ)、通知(充電)ランプ窓部	PMMA樹脂(インモールド)	アクリル系UV硬化箔
電話帳キー、カメラキー、ブラウザキー、メールキー、カーソルキー、センターキー、発信/ペアキー、クリア/メモキー、電源/終話キー、ダイヤルキー、カスタマイズキー、クッション(ダイヤルキー下部)	UV硬化性樹脂	—

使用箇所	使用材質	表面処理
キーシート	PET樹脂	UV硬化性樹脂
ウィンドウパネル部 (メイン)、カメラプレート	PMMA+PC 樹脂	ハードコート 処理

■電池パック(KYF36UAA)

使用箇所	使用材質	表面処理
外装	PC樹脂	—
シール	PET(基材) +PP(表面)	—
端子	銅	金メッキ処理 (下地Niメッキ)

取り扱い上のご注意

製品の故障を防ぎ、性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。
よくお読みになって、正しくご使用ください。

■本体、電池パック、背面カバー、充電用機器、au ICカード(SIMカード)、周辺機器共通

- 本製品に無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、中で重い物の下になったりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。また、外部接続器を外部接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。

- 本製品の防水性能(IPX5、IPX8相当)を発揮するために、背面カバーをしっかりと取り付けた状態で、ご使用ください。

ただし、すべてのご使用状況について保証するものではありません。本製品内部に水を浸入させたり、電池パックや指定の充電用機器(別売)、オプション品に水をかけたりしないでください。雨の中や水滴がついたままの背面カバーの取り付け／取り外しは行わないでください。水が浸入して内部が腐食する原因となります。

調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。

- 下記については、極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。
(周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。ただし、36℃～40℃であれば一時的な使用は可能です。)
 - ・本製品本体
 - ・電池パック・au ICカード(SIMカード)(本製品本体装着状態)
- 下記については、極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。
(周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。)
- ・充電用機器
- ・周辺機器
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。故障の原因となります。
- 外部接続端子をとときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えて外部接続端子を変形させないでください。
- お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤、ガラスクリーナーなどで拭くと、外装の印刷が消えたり、故障したりする原因となります。

- 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 充電中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- 電池パックは電源を切ってから取り外してください。電源を切らずに電池パックを取り外すと、保存されたデータが変化・消失するおそれがあります。
- 腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障の原因となります。
- 屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。
- 必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、故障の原因となります。
- 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。故障の原因となります。
- お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障の原因となります。また、本製品の改造は電波法および電気通信事業法違反になります。
- 外部接続端子をショートさせないため、指などの身体の一部や導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、それらの異物が内部に入ったりしないようにしてください。故障の原因となります。
- 充電中に濡れた場合には直ちに指定の充電用機器(別売)の電源プラグを抜いてください。

- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中や歩きながらの使用はしないでください。自動車・原動機付自転車運転中の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- かばんの中や布団などで覆われた状態での使用や充電は故障の原因となります。
- 指定の充電用機器(別売)や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。正しい方向で抜き差ししないと、故障の原因となります。
- カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないようにしてください。故障の原因となります。
- 直射日光の当たる場所(自動車内など)や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所で使用、保管、放置しないでください。故障の原因となる場合があります。
- ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。充電中やバイブレーション設定中は特にご注意ください。落下して、故障などの原因となります。
- 本製品を充電する際は、たこ足配線などでコンセントや配線器具の定格を超えて使用しないでください。

■本体について

- 強く押す、たたくなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となる場合があります。
- キーやディスプレイの表面に爪や鋭利な物、硬い物などを強く押し付けしないでください。傷の発生や破損の原因となります。
- 改造された本製品は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法および電気通信事業法に抵触します。
本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等を受けており、その証として、「技適マーク㊤」が本製品本体内で確認できるようになっております。
待受画面で[設定]→[その他の設定]→[端末情報]→[技術基準適合証明]
本製品本体のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

- キャッシュカード・クレジットカード・プリペイドカードなどの磁気カードを近づけないでください。記録内容が消失する場合があります。
- ポケットやかばんなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。また金属などの硬い部材がディスプレイに触れるストラップは、傷の発生や破損の原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります(結露といいます)。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
- microSDメモリーカードのデータ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えたり、電池パックを取り外したり、電源を切ったりしないでください。データの消失・故障の原因となります。
- 背面カバーを外したまま使用しないでください。また、放置・保管しないでください。内部にほこりなどの異物が入ると故障の原因となります。(▶P.32「背面カバーの取り付けかた」)
- 本製品内のau ICカードスロットやmicroSDメモリーカードスロットに液体、金属体などの異物を入れないでください。故障の原因となります。

- 落下させる、投げつける、踏みつけるなどの強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 砂浜などの上に直に置かないでください。受話口／スピーカー部、送話口(マイク)などに砂などが入り音が小さくなったり、本製品本体内に砂などが混入したりすると故障の原因となります。
- 通話中、送話口(マイク)を指などで覆わないようにご注意ください。相手にこちらの声が聞こえにくくなります。

■電池パックについて



Li-ion00

(本製品の電池パックは、リチウムイオン電池です。)

電池パックはお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。また、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。

- 夏期、閉めきった(自動車)車内に放置するなど、極端な高温や低温環境では電池パックの容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、電池パックの寿命も短くなります。できるだけ、常温でお使いください。
- 長時間使用しない場合は、本体から電池パックを外し、高温多湿を避けて保管してください。

- 電池パックは消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめになり、指定の新しい電池パックをお買い求めください。なお、寿命は使用状態などにより異なります。
- 電池パックは、ご使用条件により寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。
- 破損や液漏れした電池パックを使用しないでください。故障原因となる場合があります。
- 電池パックを水などで濡らさないでください。電池パックが濡れると故障の原因となります。誤って水などに落としたときは、直ちに電源を切り、電池パックを外して、auショップ／au Styleもしくは故障紛失サポートセンターまでご連絡ください。また、濡れた電池パックは充電をしないでください。

■充電用機器について

- 指定の充電用機器(別売)の電源コードをアダプタ本体に巻きつけないでください。また、指定の充電用機器(別売)のプラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。指定の充電用機器(別売)のコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。故障の原因となります。
- 指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張るとケーブルが損傷するおそれがあります。

■au ICカード(SIMカード)について

- au ICカード(SIMカード)の取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になるau電話への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどに、au ICカード(SIMカード)を挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- au ICカード(SIMカード)にシールなどを貼らないでください。
- 変換アダプタを取り付けたau ICカード(SIMカード)を挿入しないでください。故障の原因になります。

- カードに損傷を与えるようなこと(高温の場所での使用、火中投下、金属部への異物の接触、衝撃を与える、曲げたり荷重をかけたりする、濡らすなど)はしないでください。データの消失や故障の原因となります。

■カメラ機能について

- 大切な撮影などをするとき、事前に試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 撮影が禁止されている場所では撮影しないでください。

■著作権・肖像権について

- お客様が本製品で撮影・録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。
また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。
なお、実演や興行、展示物などでは、私的使用目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮影したフォトなどをインターネット・ホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

■本製品の記録内容の控え作成のお願い

- ご自分で本製品に登録された内容や、外部から本製品に取り込んだ内容で、重要なものは控えをお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化したりする場合があります。

■FCC認証情報

- 本製品は、Federal Communications Commission(FCC)の認証を受けています。
本製品のFCC IDはJOYEB1056です。
また、以下の方法でも確認できます。

確認方法:

待受画面で■→[設定]→[その他の設定]→[端末情報]→[技術基準適合証明]

防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意

本製品は背面カバーが完全に装着された状態で保護等級(JIS C 0920)のIPX5相当※¹、IPX8相当※²の防水性能およびIP5X相当※³の防塵性能を有しております(当社試験方法による)。

また、MIL規格準拠※⁴の耐衝撃性能を実現しております(当社試験方法による)。

正しくお使いいただくために、「ご使用にあたっての注意事項」の内容をよくお読みになってからご使用ください。記載されている内容を守らずにご使用になると、浸水や砂・異物などの混入の原因となり、発熱・発火・感電・傷害・故障のおそれがあります。

※¹ IPX5相当とは、内径6.3mmのノズルを用いて、約3mの距離から約12.5リットル／分の水を3分以上注水する条件で、あらゆる方向からのノズルによる噴流水によっても、電話機としての性能を保つことです。

※² IPX8相当とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mの水槽に静かに本製品を沈めた状態で約30分間、水底に放置しても本体内部に浸水せず、電話機としての性能を保つことです。

※³ IP5X相当とは、直径75μm以下の塵埃(じんあい)が入った装置に電話機を8時間入れて攪拌(かくはん)させ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全に維持することを意味します。(塵埃(じんあい)の侵入を完全に防止するわけではありません。)

※⁴ MIL規格準拠

米国国防総省が制定したMIL-STD-810H Method 516.8-Shock-Procedure IVに準拠した規格において、高さ1.22mから鋼板に本製品を26方向で落下させる試験を実施しています。

※日常生活における使用での耐衝撃性を想定していますので、投げつけたり、無理な落としかたをしたりするなど、過度な衝撃を与えた場合は壊れる可能性がありますのでご注意ください。また、本体の性能に異常がなくても落下衝撃にて傷などが発生します。

すべての状況での動作を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められた場合は、保証の対象外となります。

ご使用にあたっての注意事項

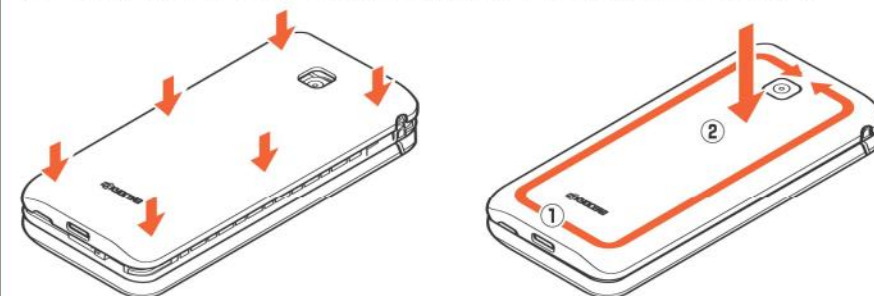
- 背面カバーは完全に装着した状態にしてください。完全に閉まっていることで防水性能が発揮されます。
- 手や本製品が濡れている状態での背面カバーの開閉は絶対にしないでください。
- 水道水以外の液体(海水、プールの水、温泉の湯、石けん、洗剤、入浴剤の入った水、アルコール、ジュース、調味料など)に浸けたり、かけたりしないでください。また、ペットの尿がかかる場所での使用はしないでください。かかった場合には、速やかに水道水で洗い流してください。
- 砂浜などの上に直に置かないでください。受話口／スピーカー部、送話口(マイク)などに砂などが入り音が小さくなったり、ヒンジ部などから本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。

- 水中で使用しないでください。
 - お風呂、台所など、湿気の多い場所での長時間の使用、保管はしないでください。
 - 水抜き後も、水分が残っている場合があります。ご使用にはさしつかえありませんが、濡れては困るもののそばには置かないでください。また、服やかばんの中などを濡らすおそれがありますのでご注意ください。
 - 受話口／スピーカ一部、送話口(マイク)などに水がたまり、一時的に音が聞こえにくくなった場合は水抜きを行ってください。
 - 耐水圧設計ではないので高い水圧を直接かけたり、長時間水中に沈めたりしないでください。
 - 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
 - 湯船には浸けないでください。耐熱設計ではありません。
 - 急激な温度変化は、結露が発生し、故障の原因となります。寒い場所から暖かいお風呂場などに本製品を持ち込むときは、本体が常温になってから持ち込んでください。
 - 本製品は水に浮きません。
- 背面カバーについて
- 背面カバーは完全に装着した状態にしてください。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本など)がわずかでも挟まると浸水の原因となります。

- 背面カバーを取り外し、取り付ける際は手袋などをしたまま操作しないでください。接触面は微細なゴミ(髪の毛1本など)がわずかでも挟まると浸水の原因となります。カバーを閉じる際、わずかでも水滴・汚れなどが付着している場合は、乾いた清潔な布で拭き取ってください。
- 背面カバーに劣化・破損があるときは、防水性能を維持できません。

背面カバーの取り付けかた

本体を閉じた状態で背面カバーと本体を合わせるように置き、背面カバーを取り付けます。取り付け後、背面カバーの外周を①の方向になぞり、②の方向にしっかり押さえ、完全に装着させます。



■水以外が付着した場合

- 万一、水以外(海水・洗剤・アルコールなど)が付着してしまった場合、すぐに水で洗い流してください。
- やや弱めの水流(6リットル／分以下)で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温(5℃～35℃)の水道水で洗えます。
- 汚れた場合、ブラシなどは使用せず、背面カバーが開かないように押さえながら手で洗ってください。

■水に濡れた後は

- 水濡れ後は水抜きをし、背面カバーを外さないで、本体、背面カバーとも乾いた清潔な布で水を拭き取ってください。
- 寒冷地では本製品に水滴が付着していると、凍結することがあります。凍結したままで使用すると故障の原因となります。水滴が付着したまま放置しないでください。

■ゴムパッキンについて

- 背面カバーを開けたときの本体側のゴムパッキンは、防水性能を維持するため大切な役割をしています。傷付けたり、はがしたりしないでください。
- 背面カバーを閉める際はゴムパッキンを噛み込まないようにご注意ください。噛み込んだまま無理に閉めようとすると、ゴムパッキンが傷付き、防水性能が維持できなくなる場合があります。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本など)がわずかでも挟まると浸水の原因となります。

- 水以外の液体(アルコールなど)が付着した場合は耐久性能を維持できなくなる場合があります。
- 背面カバーの隙間に、先のとがったものを差し込まないでください。本製品が破損・変形したり、ゴムパッキンが傷付くおそれがあり、浸水の原因となります。
- 防水性能を維持するための部品は、異常の有無にかかわらず2年ごとに交換することをおすすめします。部品の交換については、お近くのauショップ／au Styleまでご連絡ください。

■耐熱性について

- 熱湯に浸けたり、熱湯をかけたりしないでください。また、サウナでの使用やドライヤーなどで熱風を当てないでください。本製品は耐熱設計ではありません。

■衝撃について

- 本製品は耐衝撃性能を有しておりますが、日常生活における使用での耐衝撃性を想定していますので、投げつけたり、無理な落とし方をするなど、過度な衝撃を与えた場合は壊れる可能性がありますのでご注意ください。

■お手入れのしかた

本製品の汚れは下記の手順で泡ハンドソープやアルコールなどで拭きとることができます。

■泡ハンドソープ／泡ボディソープを使用する場合

1 ケーブル類をすべて取り外して、本製品の電源を切ります。

電源の切りかたについて詳しくは「電源を切る」(▶P.61)をご参照ください。

2 柔らかい布に泡ハンドソープ／泡ボディソープを付けて本製品を手早く拭き取ります。

受話口／スピーカ一部、送話口(マイク)などの穴部に泡ハンドソープなどが入り込まないように注意してください。

3 泡が完全になくなるまですすぎます。

受話口／スピーカ一部、送話口(マイク)などの穴部を約30秒洗い流します。

4 受話口／スピーカ一部、送話口(マイク)などの穴部の水抜きを十分にしてください。

水抜きについて詳しくは「水に濡れたときの水抜きについて」(▶P.35)をご参照ください。

5 十分に乾燥させて、水滴が残っていないことを確認してください。

乾燥について詳しくは「水に濡れたときの水抜きについて」(▶P.35)をご参照ください。

■アルコールを使用する場合

1 ケーブル類をすべて取り外して、本製品の電源を切ります。

電源の切りかたについて詳しくは「電源を切る」(▶P.61)をご参照ください。

2 糸くずの出ない柔らかい布にイソプロピルアルコール、エタノール、次亜塩素酸ナトリウムを少量含ませ、本製品を拭き取ります。

※ 製品の有する性能は試験環境下での確認であり、無故障を保証するものではありません。

※ イソプロピルアルコール、エタノール、次亜塩素酸ナトリウムは消毒用として販売されているものを、それぞれの取扱説明書をよく読んでお使いください。誤った使いかたは人体への影響や引火などの恐れがあります。

■注意事項

- 市販のアクセサリ商品(ストラップなど)は取り外してください。なお、市販のアクセサリ商品の取り扱いについては、各商品の注意事項をご確認ください。
- 耐水圧設計ではありませんので高い水圧を直接かけたり、長時間水中に沈めたりしないでください。
- 卓上ホルダ(KYF39PUA)(別売)は防水性能を有しておりませんので、泡ハンドソープやアルコールなどでの拭き取りは行わないでください。

- お手入れの際は背面カバーがしっかり閉じていることを確認してください。

※ 国内メーカー製の泡タイプのハンドソープ／ボディソープをご使用ください。種類の異なる泡ハンドソープ／泡ボディソープは混ぜないでください。

キッチン用・業務用・無添加・アルカリ性のハンドソープ、業務用・無添加・アルカリ性のボディソープや、石けん、洗剤、入浴剤、シャンプー、リンス、洗顔料、メイク落とし、歯磨き粉などを使用しないでください。

付着した場合にはすぐに水で洗い流してください。

充電のときは

- 付属品、オプション品は防水／防塵性能を有しておりません。充電時、および充電後には次の点をご確認ください。
- 本製品が濡れている状態では絶対に充電しないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 本製品が濡れていないかご確認ください。水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取ってから、卓上ホルダ(KYF39PUA)(別売)に差し込んでください。
- 濡れた手で指定の充電用機器(別売)、卓上ホルダ(KYF39PUA)(別売)に触れないでください。感電の原因となります。

- 指定の充電用機器(別売)、卓上ホルダ(KYF39PUA)(別売)は、水のかからない状態で使用し、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水回りでは使用しないでください。火災、やけど、感電、故障などの原因となります。また、充電しないときでも、お風呂場などに持ち込まないでください。火災、やけど、感電、故障などの原因となります。

- 外部接続端子に水滴や異物が入っていないか確認の上、ご使用ください。

水に濡れたときの水抜きについて

本製品を水に濡らした場合、必ず受話口／スピーカ一部、送話口(マイク)、外部接続端子部の水抜きをしてください。そのまま使用すると衣服やかばんなどを濡らす場合や音が聞こえにくくなる場合があります。

下記手順で水抜きを行ってください。

- 1 本製品表面の水分を繊維くずの出ない乾いた清潔な布などでよく拭き取ってください。**

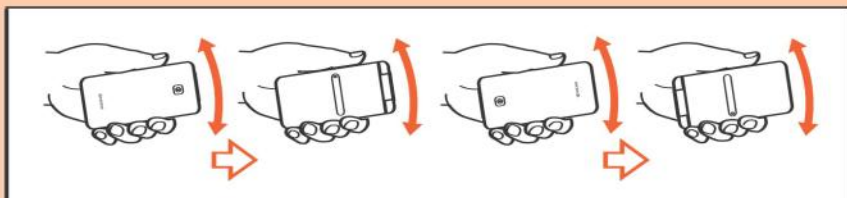


2 振りかたについて

①本製品をしっかり持ち、水が出なくなるまで本製品を矢印方向に振ります。

※ 振る際は周りに危険がないことを確認してください。

※ 本製品が飛び出さないように、しっかりと持ち水抜きをしてください。



②出てきた水分を拭き取ります。

※ 受話口／スピーカー部、送話口(マイク)、外部接続端子部は特に水が抜けにくいいため、押し付けるように各部分を下側にして拭き取ってください。

③乾いたタオルや布の上に置き、常温でしばらく放置します。

3 繊維くずの出ない乾いた清潔な布などに本製品を軽く押し当て、受話口／スピーカー部・送話口(マイク)・ヒンジ部・外部接続端子部などの隙間に入った水分を拭き取ってください。



4 本製品から出た水分を十分に取り除いてから常温で1時間以上放置して乾燥させてください。

上記手順を行った後でも、本製品に水分が残っている場合があります。濡れて困るもののそばには置かないでください。

また、衣服やかばんなどを濡らしてしまうおそれがありますのでご注意ください。

Bluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®)機能について

- 本製品のBluetooth®機能および無線LAN(Wi-Fi®)機能は日本国内規格、FCC規格に準拠し、認証を取得しています。
- 一部の国／地域ではBluetooth®機能および無線LAN(Wi-Fi®)機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 無線LAN(Wi-Fi®)やBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
- 近くに複数の無線LAN(Wi-Fi®)アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
- 通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信できる距離は異なります。

2.4GHz帯ご使用上の注意

- 本製品のBluetooth®機能／無線LAN(Wi-Fi®)機能は2.4GHz帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。
 1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
 2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
 3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップ／au Styleもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

 memo

- ◎ 本製品はすべてのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との動作を保証するものではありません。
- ◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)によるデータ通信を行う際はご注意ください。
- ◎ 無線LAN(Wi-Fi®)は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
- ◎ Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎ Bluetooth®と無線LAN(Wi-Fi®)は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断されることがあります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、無線LAN(Wi-Fi®)のいずれかの使用を中止してください。

本製品のBluetooth®機能および無線LAN(Wi-Fi®)機能は、2.4GHz帯の周波数を使用します。

-Bluetooth®機能:2.4FH1/XX1



本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式等を採用し、与干渉距離は約10m以下です。

移動体識別装置の帯域を回避することはできません。

-無線LAN(Wi-Fi®)機能:2.4DS4/OF4



本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。

全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

- 利用可能なチャンネルは、国により異なります。
- 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

各種暗証番号／PINコードについて

各種暗証番号について

本製品をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただきます。

ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

なお、初期値は必ずお客様の独自の番号に変更のうえお使いください。

■暗証番号

使用例	①お留守番サービス、着信転送サービスを一般電話から遠隔操作する場合 ②お客さまセンター音声応答、auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

■オートロック

使用例	オートロックの設定／解除をする場合
初期値	なし

■機能ロックNo.

使用例	「電話帳ロック」／「Eメールロック」／「+メッセージロック」／「オールリセット」などを利用する場合
初期値	1234

PINコードについて

■PINコード

第三者によるau ICカード(SIMカード)の無断使用を防ぐために、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます。また、PINコードの入力可否を設定する場合にも入力が必要となります。

PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

- お買い上げ時のPINコードは「1234」、入力可否は入力が不要な設定になっていますが、お客様の必要に応じてPINコードは4～8桁のお好きな番号、入力可否は入力が必要な設定に変更できます。
- 入力が必要な設定で使用する場合、必ずお客様独自の番号に変更のうえご使用ください。

PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、au ICカード(SIMカード)が取り付けられていたプラスチックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- PINロック解除コードを入力した場合は、新しくPINコードを設定してください。
- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップ／au Style・トヨタ au取扱店もしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- PINコードはデータの初期化を行ってもリセットされません。

＜この部分をコピーしてご使用ください＞

【パスワード記載欄】	
au ID	オートロック:ロックNo.
au IDパスワード	オートロック:パスワード

※アカウント(ID)やパスワードは、他人に知られることのないよう厳重に管理してください。

データ通信料についてのご注意

- 本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリなどにより自動的にデータ通信が行われる場合があります。このため、ご利用の際はデータ通信料が高額になる場合がありますので、データ通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。
- 本製品でのホームページ閲覧や、アプリなどの取得、アプリによる通信、メールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、データ通信は有料となります。

※ 無線LAN(Wi-Fi®)接続の場合はデータ通信料はかかりません。

通話料についてのご注意

- 通話を終了される際は、通話終了の操作を行って確実に通話が切断されていることをご確認ください。通話の切り忘れにより、通話料が高額になる場合があります。

アプリケーションについて

- アプリの取得についてはau IDを設定の上、auスマートパスより行ってください。au IDの設定については「初期設定をする」(▶P.63)をご参照ください。本製品ではGoogle Play™やEZwebのご利用はできません。
- アプリの取得は安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- 万一、お客様が取得したアプリなどにより不具合が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様が取得したアプリなどにより、お客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリによっては、microSDメモリカードをセットしていないと利用できない場合があります。
- アプリの中には動作中にディスプレイが自動消灯しなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなったりするものがあります。

- 本製品に搭載されているアプリや取得したアプリはアプリのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

マナーも携帯する

■ こんな場所では、使用禁止！

- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画を視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています(自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります)。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

■ 周りの人への配慮も大切

- 映画館や劇場、美術館、図書館などでは、発信を控えるのはもちろん、着信音で周囲の迷惑にならないように電源を切るか、マナーモードを利用しましょう。
- 街中では、通行の邪魔にならない場所で使いましょう。
- 携帯電話の画面を見ながらの歩行は大変危険です。歩行中または急に立ち止まっての通話や操作は控えましょう。
- 新幹線の車中やホテルのロビーなどでは、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- 通話中の声は大きすぎないようにしましょう。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れに注意しましょう。
- 携帯電話のカメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。
- カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルを守りましょう。
- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があります。事前に本製品の「機内モード」へ切り替える、もしくは電源を切っておきましょう。

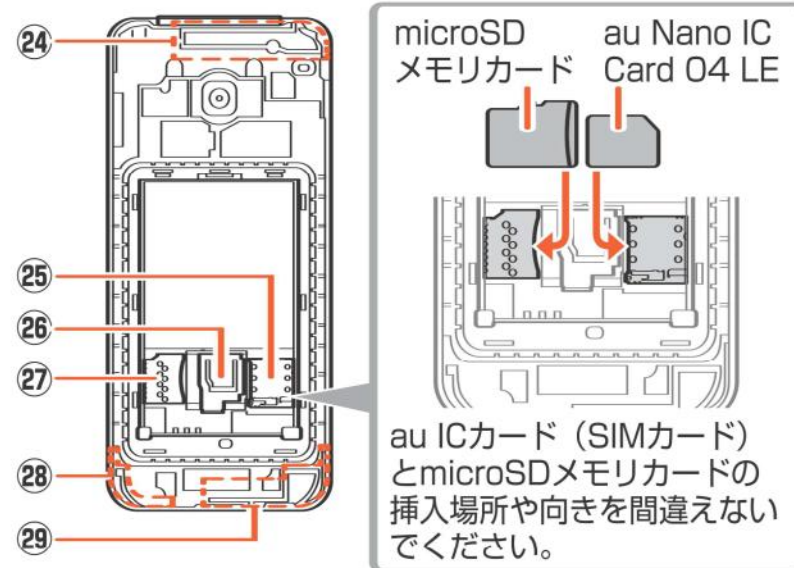
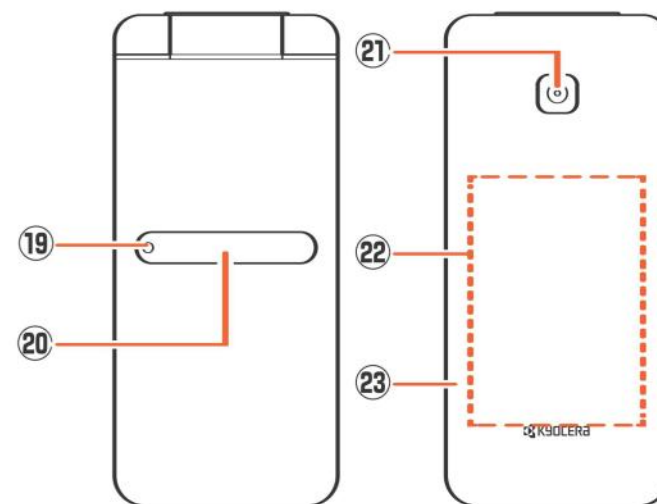
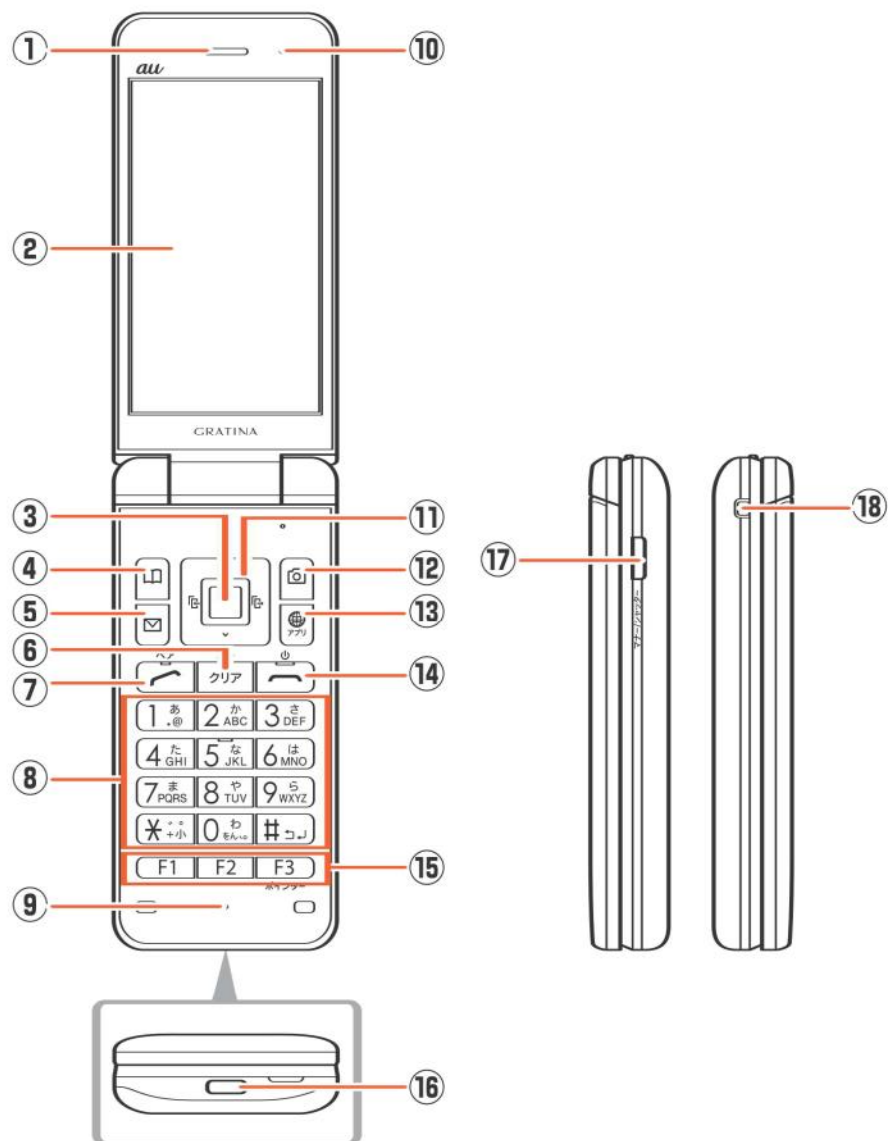
機内モードの設定方法:

待受画面で  → [設定] → [無線・ネットワーク] → [機内モード]

- 病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

基本操作

各部の名称と機能



① 受話口／スピーカー

通話中の相手の方の声、伝言メモの再生音、着信音、アラーム音などが聞こえます。

② ディスプレイ(メインディスプレイ)

③ ■センターキー

選択したメニューや項目などを決定します。

待受画面で押すとメインメニューが表示されます。待受画面で1秒以上長押しすると、本体を閉じたときにマナー／シャッターキーの長押し操作を無効にできます(▶P.81)。

④ □電話帳キー

待受画面で押すと電話帳を起動します。待受画面で1秒以上長押しすると電話帳編集画面が表示されます。

⑤ □メールキー

待受画面で押すとEメールを起動します。待受画面で1秒以上長押しすると+メッセージ(SMS)を起動します。

⑥ □クリア／メモキー

操作中は1つ前の画面に戻ります。

待受画面で押すと伝言メモリスト画面が表示されます。待受画面で1秒以上長押しすると伝言メモ応答を設定／解除します。

⑦ □発信／ペアキー

待受画面で電話番号を入力せずに□を押すと、ペア登録確認画面が表示され、ペア相手を登録するとペア機能を利用できます(▶P.98)。

また、待受画面で1秒以上長押しするとフェイク着信機能を利用できます。

⑧ □0～9、□※、□#ダイヤルキー

電話番号や文字を入力します。

⑨ 送話口(マイク)

通話中の相手の方にこちらの声を伝えます。また、音声を録音するときにも使用します。使用中はマイクを指などで覆わないようにご注意ください。

⑩ エアベント

本製品は防水／防塵仕様のため、本体の密閉度が高くなっています。そのため、エアベント(空気抜き用の穴)を設けています。

- ・エアベントは防水／防塵性能に影響を与えません。
- ・保護シートやシールでエアベントをふさがないでください。

⑪ □カーソルキー

カーソルなどを上下左右に移動したり、機能を起動したりできます。

◀左キー／着信履歴

▶右キー／発信履歴

▲上キー

▼下キー

⑫ ㊄カメラキー

待受画面で押すとカメラを起動します。待受画面で1秒以上長押しすると、データフォルダのフォルダ一覧画面が表示されます。

⑬ ㊄ブラウザキー

待受画面でブラウザメニューを表示します。
待受画面で1秒以上長押しするとアプリ・サービス画面が表示されます(▶P.77)。

⑭ ㊄電源／終話キー

操作中は通話や各機能を終了します。長押しすると電源を入れる、または電源を切ることができます。

⑮ [F1]～[F3] カスタマイズキー1～3

カスタマイズキーで割り当てたアプリを起動します。

また1秒以上長押しすると、それぞれのキーで以下の操作ができます。

[F1]を1秒以上長押し:アプリ履歴を表示

[F2]を1秒以上長押し:通知を表示

[F3]を1秒以上長押し:ポインターに対応した機能やアプリの起動中にポインターのON/OFF切り替え(▶P.65)

⑯ 外部接続端子

TypeC共通ACアダプタ01(別売)や卓上ホルダ(KYF39PUA)(別売)などの接続時に使用します。

⑰ マナー/シャッター マナー／シャッターキー

待受画面で押すとマナーメニューを呼び出します。待受画面または本製品を閉じた状態で1秒以上長押しすると、マナーモードを設定／解除します。

本製品を閉じた状態で押すと、サブディスプレイの点灯や表示の切り替えができます。

カメラ起動中に押すと、フォトを撮影／保存します。

⑱ ストラップ取付部

⑲ 充電ランプ／通知ランプ

充電中は赤色で点灯します。着信時、メール受信時には設定内容に従って点滅します。位置検索サポート(▶P.131)が位置情報を測位中は黄色で点滅します。

詳しくは「充電ランプ／通知ランプについて」(▶P.46)をご参照ください。

⑳ サブディスプレイ

着信時、メール受信時、アラーム鳴動時などに情報を表示してお知らせします。

㉑ カメラ(レンズ部)

㉒ 電池パック

- ②③ 背面カバー
- ②④ 内蔵メインアンテナ部※¹
- ②⑤ au ICカードスロット※²
- ②⑥ ストッパー
- ②⑦ microSDメモ리카ードスロット※²
- ②⑧ 内蔵GPS／Wi-Fi®／Bluetooth®アンテナ部※¹
- ②⑨ 内蔵サブアンテナ部※¹

※¹ アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ部付近を手で覆うと通話／通信品質に影響を及ぼす場合があります。

※² au ICカード(SIMカード)とmicroSDメモ리카ードの取り付け／取り外し方法については「au ICカード(SIMカード)を取り付ける／取り外す」(▶P.51)および「microSDメモ리카ードを取り付ける／取り外す」(▶P.55)をご参照ください。

充電ランプ／通知ランプについて

充電ランプ／通知ランプの点灯／点滅により、充電を促したり、充電中の充電状態、不在着信やメールの受信などをお知らせしたりします。

LEDの色と動作	通知内容
赤の点灯	充電中であることを示します。
青の点滅	着信時※、不在着信、通知メッセージがあることや、音声レコーダーでの録音中であることを示します。
白の点滅	新着＋メッセージ(SMS)があることを示します。
赤の点滅	電池容量不足による電源投入不可や、充電異常を示します。

※ お買い上げ時の設定です。設定メニューの「サウンド・通知」(▶P.124)でLEDの設定を変更できます。